

清光学園

りよた

第22号

児童養護施設 清光学園
 園長 大竹 昌和
 若手星花春市石鳥谷町
 北寺林十一一六八―六五
 電話番号
 〇一九八・四五・五一七三
 発行日
 平成二十六年九月一日



学園の畑で収穫したスイカで
スイカ割りをしました

本年四月前佐々木園長の退職に伴い園長に就任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

関係機関の方々や地域の皆様、全国から支援いただいている皆様、そして卒園生の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げますとともに日頃より「清光学園」に対し多くのご支援とご協力を頂いておりますこと心より御礼申し上げます。今後とも変わらぬご支援を頂きますようお願い申し上げます。

私は、石鳥谷町職員から合併後の花巻市の職員として総務や保健福祉分野を中心に仕事をさせていただき、行政の仕事以外はまったく経験がなく、四月を迎えるにあたり大変不安な気持ちでした。しかし、四月一日理事長からの辞令交付を受け、新人職員への辞令交付、本園の創立記念日の行事と続き、元気な子どもたちとの顔合せ、そしてホーム編成(部屋割りと担当)の発表と続きました。それから五カ月、優秀な先生方に支えられ、毎日元気な子どもたちに囲まれ、楽しい充実した日



「新任の」挨拶」

園長 大竹 昌和

々を過ごしております。

子どもたちは、時には失敗や間違いもおこしますが、大きな可能性を秘めています。

「やって見せ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやり」を基本に、時には厳しく、時にはやさしく、子どもたちが将来自立する姿を、孫が成長するかのよう楽しみにしています。

今、全国的に児童虐待やDVの相談件数は年々増加傾向にあり、社会的養護は重要性を増してきており、その中で、お預かりした子どもたちをいかに家庭的雰囲気に近い形で養育していくのが大きな課題となってきました。

清光学園は昭和五十四年にスタートした大舎制の施設ですが、施設の老朽化と少人数での養育(家庭的養護)を進めるための施設の小規模化が求められており、ここ数年での施設の建替えが必要ですが、克服しなければならぬ課題も多くあります。子どもたちの健全やかな成長を願い、微力ではありますが全力を傾注し、職員一丸となって努力してまいりますので、今後ともご指導とご協力よろしくお願い申し上げます

社会福祉法人青松会 役員紹介

- 理事長 高橋 和宏
- 理事 八重樫 睦
- 理事 大富 静信
- 理事 佐藤 現
- 理事 川村 邦子
- 理事 佐々木 賢三
- 理事 鎌田 幸也
- 理事 大竹 昌和
- 監事 柳田 善見
- 監事 八重樫 康治

清光学園 新任職員紹介

平成二十六年より当学園職員として新たに加わった職員を紹介いたします。

園長 大竹 昌和

臨時児童指導員 後藤 裕樹

今年からこの学園で働かせて頂くことになりました後藤裕樹です。子ども達と笑い、成長していく職員として頑張ります。

臨時児童指導員 及川 彩月

様々な経験を積みながら、日々成長していけるようこれからも頑張ります。よろしくお願いたします。

臨時保育士 北田 貴大

4月から早くも4ヶ月が経ち日々多くのことを学んでいます。子ども達の支えとなりながら、職員の自覚を持ち頑張ります。

臨時保育士 佐々木 芹菜

今年度から清光学園で働き始め、たくさん仕事を学び、子ども達と関わりながら楽しく仕事をしていきたいと思っております。

臨時保育士 山崎 蒔野

四月から清光学園に勤め、大変なこともありますが子ども達と関わる中で様々なことを吸収し、楽しく過ごしていきたいです。

地域小規模職員 宮崎 和子

子ども達の元気をパワーを頂きながら元気に頑張っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

臨時調理員 高橋 サト子

5月から調理で働くことになりました。おかわりしてもらえ「美味しい」料理を作りたいと思います。ご指導お願いいたします。

臨時調理員 似内 志保

入社当時は不安だらけでしたが、今では楽しく仕事が出来ております。子ども達にも早く名前を覚えてもらえるよう頑張ります。

臨時保育士補助 松平 美咲

子ども達と沢山ふれあい色々な事を吸収していきたいです。まだまだ分からない事が多いですが、全力で頑張ります。

退職した職員

昨年度末、以下の方々から退職されました。長きにわたり大変ありがとうございました。

- 園長 佐々木 賢三
- 主任児童指導員 菅原 一彦
- 保育士 藤 眞智子
- 臨時調理員 新 栄子
- 小規模職員 高橋 栄子

貸借対照表

平成26年 3月31日現在

第5号様式
(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流 動 資 産	33,903,711	30,750,937	3,152,774	流 動 負 債	10,970,445	6,345,407	4,625,038
現金預金	33,536,361	30,247,313	3,289,048	未払金	9,242,877	3,602,672	5,640,205
現金	31,379	66,441	△35,062	預り金	1,627,568	2,742,735	△1,115,167
現金(小規模)	27,701		27,701	健康保険	497,153	741,402	△244,249
普通預金	29,277,281	25,980,872	3,296,409	厚生年金	751,214	1,116,374	△365,160
定期預金	4,200,000	4,200,000		失業保険	87,090	97,344	△10,254
未収金	367,350	394,551	△27,201	所得税	253,002	435,806	△182,804
前払金		109,073	△109,073	町県民税		219,300	△219,300
固定資産	122,465,436	128,532,763	△6,067,327	退職共済		93,400	△93,400
基本財産	49,361,643	51,725,697	△2,364,054	その他預り金	39,109	39,109	
建物	48,361,643	50,725,697	△2,364,054	仮受金	100,000		100,000
基本財産特定預金	1,000,000	1,000,000		固定負債	14,432,755	14,883,040	△450,285
その他の固定資産	73,103,793	76,807,066	△3,703,273	退職給与引当金	14,432,755	14,883,040	△450,285
建物	2,005,014	2,049,618	△44,604	負債の部合計	25,403,200	21,228,447	4,174,753
車両運搬具	1,422,107	1,057,107	365,000				
器具及び備品	6,625,297	8,198,681	△1,573,384	純資産の部			
土地	4,300,000		4,300,000	基本金	1,000,000	1,000,000	
その他の有形固定資産	600,000	600,000		基本金	1,000,000	1,000,000	
措置施設				国庫補助金等			
繰越特定積立預金	43,718,620	50,018,620	△6,300,000	特別積立金	17,985,466	20,219,241	△2,233,775
人件費積立預金	13,500,000	13,500,000		国庫補助金等			
修繕費積立預金	10,218,620	16,518,620	△6,300,000	特別積立金	17,985,466	20,219,241	△2,233,775
備品等購入積立預金	20,000,000	20,000,000		その他の積立預金	43,718,620	50,018,620	△6,300,000
その他の固定資産	14,432,755	14,883,040	△450,285	人件費積立預金	43,718,620	50,018,620	△6,300,000
県共済退職預け金	14,432,755	14,883,040	△450,285	修繕積立預金	13,500,000	13,500,000	
				修繕積立預金	10,218,620	16,518,620	△6,300,000
				備品等購入積立預金	20,000,000	20,000,000	
				繰越活動			
				次期支差額	68,261,861	66,817,392	1,444,469
				次期繰越活動			
				収支差額	68,261,861	66,817,392	1,444,469
				うち当期活動			
				収支差額)	△4,855,531	3,898,559	△8,754,090
資産の部合計	156,369,147	159,283,700	△2,914,553	純資産の部合計	130,965,947	138,055,253	△7,089,306
				負債及び純資産	156,369,147	159,283,700	△2,914,553
				の部合計			

脚注
 1. 減価償却費の累計額
 2. 徴収不能引当金の額

春の行楽行事

春の行楽行事は今回、初めての試みでしたが、「被災地の現状を見てくる」という目的を持ち、沿岸部へと出かけました。初めに松島水族館で沢山の魚を見たり、アシカのショーを見学しました。そして、一路気仙沼市を目指し進むにつれ、次第に震災の爪痕が見られ始めると子ども達も言葉が少なくなり、復興が進んでいない現状と震災当時、状況に思いを馳せ、考えさせられていたようでした。



夏のレク

今年の夏のレクはみんなが秋田県に行きました。寒風山からの雄大な日本海の景色を眺めたり、男鹿真山伝承館ではなまはげにおどろいたり、ワクワク、ドキドキの旅でした。宿泊は男鹿のセイコーランドホテル。どこか親しみやすいホテル名で、おもしろいご馳走や温泉に子ども達のテンションも上がり、夜遅くまで旅を満喫できました。翌日の海水浴も日本海の温かい海で思いきり遊ぶことが出来ました。



平成二十五年度は小学生男子グループが様々な企画を行い、沢山の経験を積むことが出来ました。その一部を紹介します。

キャンプ

石鳥谷町内には戸塚森という森林があり、キャンプ設備やアスレチック、運動場などがあります。

今回はこのバングローと炊事場を利用し、「全て自分たちの力で！」をスローガンに小学生男子が自分たちの手で火をおこし、ご飯を作り、最後まで頑張りました。普段やってもらっているご飯の準備も自分たちで行うと、その大変さが身にしみて来ました。



盛岡手づくり村

盛岡手づくり村にて冷麺作りや南部煎餅の手焼き体験をしました。

私で生きる力 小学生男子

普段何気なく食べている冷麺や煎餅ですが、実際に作るとこんなにも手がかりなものなのか、と言うことを実感することが出来ました。

できあがった冷麺や煎餅は勿論残さずにおいしく頂きました。あらためて調理場の職員に感謝の気持ちで一杯です。



寿広園様招待

粟石町の寿広園様からのご招待を頂き、今回も宿泊をさせて頂くことが出来ました。今回の参加は小学生です。

バーベキューや釣り堀での魚釣り、釣り上げた魚を炭火で焼いて食べさせて頂いたりして子ども達も満腹でした。その後温泉を楽しんだり、部屋ではいつもと違う環境で、夜遅くまで楽しく過ごしていただきました。



七夕行事



H25年度 行事 あれこれ

毎年行っている学園の七夕行事を紹介します。

体育館の天井に届くほどの笹竹に、各担当毎に折り紙で作った飾りや紙いを込めた短冊を飾り付けます。行事食の七夕その楽しみも毎年恒例です。晴天時は川の観察も行います。観念の願い、届きますように。



あの東日本大震災から三年を迎えようとしていた三月十日。夕食時に非常食体験を行いました。

震災の教訓を生かして

次第に震災時の記憶が薄れつつありますが、あの時の教訓を思い出し、又、非常時の訓練を含めて夕食として備蓄していた非常食を食べてみました。

電気の消された暗い食堂でろうそくの火を囲み、レトルト食品や缶詰などを体験し、あらためて日常の何気ない生活がどれだけ貴重なことかを感じ取る事が出来ました。

地震や土砂災害など各地で天災が起きています。昨今、私達も常に非常時を想定して意識を高め、必要があると感じました。今回の体験も子ども達への良い意識付けの機会となりました。





地域小規模児童養護施設 みずきホーム 開設しました

平成二十六年四月一日より地域小規模児童養護施設「みずきホーム」を開設しました。本園・小規模グループケア「明光園」共々、よろしくお願いいたします。

みずきホームには現在小学生二名、中学生三名、高校生一名の計六名が生活しています。職員は専属で四名が交代して勤務しています。一般家庭の環境で、普通の生活を目指し、日々食材の買い出しや食事作りに職員は奮闘しています。充分に子ども達の宿題を見たり、ゆったり話が出来たりと、良い雰囲気が出来ています。

所在地

花巻市石鳥谷町中寺林

7-64-1

木造/亜鉛メッキ鋼板葺 2階建

延べ床面積 82.80㎡

土地・建物 当法人所有



平成26年度の 主な取り組み

権利擁護の推進と児童会機能の向上

権利擁護の推進にあたり、子ども達の自治組織である児童会の在り方を見直し、学園生活について自ら見つめ直し、より良い生活を創り出していく事が出来るような取り組みをしていきます。

組織体制の再構築とマニュアル等の整備

基本理念及び基本方針に則り、現在の組織体制の見直しを行うと共に、各種マニュアル等の整備を行い、権利擁護に立脚した支援を一層推進していきます。又、今年度は第三者評価を受審します。

行事・職員会議等の見直し

従来の行事の在り方や職員会議の持ち方について、より有意義で効率的なものとなるように、将来的展望を持ち必要に応じて見直していきます。

子育て支援事業及び里親との連携

市町村との契約による子育て支援事業に取り組んでいます。(今年度の契約先は花巻市、北上市、奥州市、金ヶ崎町、紫波町です) 又、里親の認定前実習の受入や一時里親等里親との連携を図っていきます。

小規模化の推進に向けた取り組み

既存本体施設の老朽化と家庭的養護の推進に係る施設の小規模化に伴い、本体施設の建て替えを視野に入れた検討を始めます。

地域交流の推進

当学園は地域との密接な交流を頂いています。子ども育成会を中心とし、各種行事に積極的に参加し、地域の方々との交流を図っていくと共に施設機能を地域に還元できるよう努めて参ります。

くらし・あんしん委員会 を設置しました

子ども達が学園で生活する中で、子ども達は安心・安全な生活が保障されなければなりません。そのためには児童、職員が権利擁護に基づき他者の人格を尊重していくことが大切です。くらし・あんしん委員会は他者からの暴力や不適切な関わり防止を目的として定期的な児童からの聞き取りを行い、早期発見、早期対応を目指していきます。これにより学園における権利擁護の推進と安全な生活環境における児童の健全な育成を保障するものです。

情報公開を推進します

当学園ではこの「清光学園だより」の紙面やホームページを通じて情報公開を推進し、法人・施設の運営状況や事業の取り組み、子ども達の暮らしの様子をお伝えしていきます。

紙面の関係上、詳しい財務情報や事業計画・報告はホームページをご覧ください。

清光学園ホームページ
<http://www12.ocn.ne.jp/~seikou/>

苦情解決委員会 を設置してつまず

当学園では児童の権利の擁護やサービスへの満足度を高めるため、施設の運営やサービスに対する苦情・意見・相談を受け付けています。

学園内には「目安箱」を設置しており、相談等のある児童が投書する仕組みになっていきます。

今までの事案は児童間トラブルに関するものや職員の支援方法に関するものなどがありました。昨年度の件数は0件でしたが、それに甘んずることなく、職員は常に子どもの声に耳を傾け、生活の中での困りや要望、意見などを敏感にキャッチしていきたいと思えます。

尚、本委員会で扱った案件については個人情報を除いた件数について情報をホームページ等で公開いたします。又、当法人の理事会においても報告しております。

以下が本委員会の委員です。

第三者委員	後藤 成 志
第三者委員	高橋 久
苦情解決責任者	園長 大竹 昌 和
苦情受付担当者	園長補佐 高橋 一 栄
苦情受付担当者	家庭支援 菅原 雅 子

先に紹介しました「くらし・あんしん委員会」、「苦情解決委員会」をはじめとして、当学園では権利擁護を推進して行くための組織作りを行っております。

施設内において職員による体罰等の虐待行為は絶対にあってはならないことです。その防止のためには職員集団としての高い意識の形成と支援スキルの向上が求められます。

当学園ではくらし・あんしん委員会（被措置児童虐待防止委員会）を設置し、職員が一丸となり、不適切な関わりのない支援を行うように意識の形成を図ると共に、子ども達にも適切と思われるような行為や言動があったときにはすぐに話すなど、自分自身を守る手段等を学ぶ機会を作っていきたくと考えております。又、「研修委員会」を設け、職員のスキルアップが計画に行われ、又、その知識やスキルが他の職員に伝達され、業務の中で生かされるようにしていくと共に、新任職員に対する研修の在り方を見直し、「人材育成」を大きな課題として取り組んで参りたいと考えております。社会の負託に応える施設作りを目指し今後尚一層努力して参ります。



まごころ

たくさんのご寄付
ありがとうございます

平成二十五年度に頂きました沢山の
寄付、ご慰問、ご招待を紹介致します。

皆様のご温かいご支援に對しまして心より
感謝申し上げます。

ご寄付

ハートアライズ様(岩手県)、小原誠子様(北上市)、田村敦子様・門ノ沢真喜子様(花巻市)、栗原孝嘉様(京都府)、柳原様(花巻市)、石川永子様(花巻市)、松平美咲様(紫波町)、マルハン北上店様(北上市)、スズキコープレーション様(東京都)、加藤高康様(紫波町)、イエロースタジオ様(愛知県)、クーリア様(大阪府)、ヘアスペーススターダム様(花巻市)、岩手県スポーツ用品店協会様(岩手県)、赤沼柳子様(盛岡市)、菊池英子様(花巻市)、藤井陽子様(千葉県)、高橋様(花巻市)、柏山様(花巻市)、宮沢様(花巻市)、鎌田清子様(花巻市)、毎日新聞東京社会事業団様(東京都)、木原成美様(熊

本県)、(株)ワークパワー様(奥州市)、大森響子様(神奈川県)、(株)電通 上田愛様(東京都)、熊澤清子様(千葉県)、鎌田様(花巻市)、藤田俊男様(花巻市)、藤館瑞恵様(花巻市)、中村浩希様(花巻市)、佐々木様(花巻市)、(株)岩手マイタック様(盛岡市)、高橋正克様(花巻市)、菅原様(花巻市)、日本ケンタッキーフライドチキン様(東京都)、菊池様(花巻市)、三浦智也様(東京都)、ニュー公衆グループ様(盛岡市)、伊藤様(花巻市)、キッズドリームカンパニー様(北海道)、佐藤様(石鳥谷)、ハ欽様(花巻市)、(有)東海レジャーキャロル上峰店様(佐賀県)、上和町組様(花巻市)、北日本銀行石鳥谷支店様(花巻市)、高橋様(花巻市)、中村様(花巻市)、児童養護施設大隅学舎様(鹿児島県)、阿部様(花巻市)、疋田晶子様(紫波町)、照井様(花巻市)、大瀬川活性化会議様(花巻市)、小瀬川様(花巻市)、日本鏡餅組合様(新潟県)、仲良しサークル様(福岡県)、大興寺様(石鳥谷)、みちのくコココーラ様(北上市)、柏様(釜石市)、岡田純子様(宮城県)、カーブス様(北上市)、高一商店様(花巻市)、斉藤正七郎様(群馬県)

他に匿名の方より多数のご寄付を頂きました。又、当学園花火大会など行事の折などに関係者、業者の皆様より多大なご支援を頂きました。誠にありがとうございました。

ご招待・ご慰問

焼肉ヤマト様・やまなかや北上店様・村山崇様
寿広園様、イオン盛岡南ヨッピンセンター様



きく
chrysanthemum
菊

キク科キク属の多年草。自生種や観賞用の園芸品種の総称。中国大陸が原産であり、日本には奈良時代以降に渡来し、江戸時代以降に改良が進む。種類が非常に多く、花色も多種に及ぶ。観賞用としては世界各地で栽培されている。

当学園の児童居室には草花や樹木の名前がついており、実物子ども達が目に見える様にと園舎周辺に植えています。順次ご紹介します。

編集後記

夏の暑さもようやく一段落したかに思える今日この頃、学園前の水田も間もなく実りの時期を迎えようとしています。子ども達はいま、いしどりやまつりを楽しみしています。山車を引いたり、太鼓を叩いたりと地域の皆さんと一緒に参加します。三日間という長い日程ですが、このときは子ども達も職員もまつり一色になります。